



第 153 号

2018 年 11 月 5 日発行

TEL 0193 - 42 - 2111

FAX 0193 - 42 - 3855

発行 大槌町議会

議会報

文化祭に向けた合唱中間発表会
(吉里吉里学園中学部)



主な内容

- 決算特別委員会の内容 • • • • 2~3
- 審議した議案 • • • • • • 4~5
- 一般質問 • • • • • • • • 6~10
- 特集 復興へのメッセージ • • 11

平成 29 年度決算を審議

町税収入 震災後初めて10 億超える回復状況

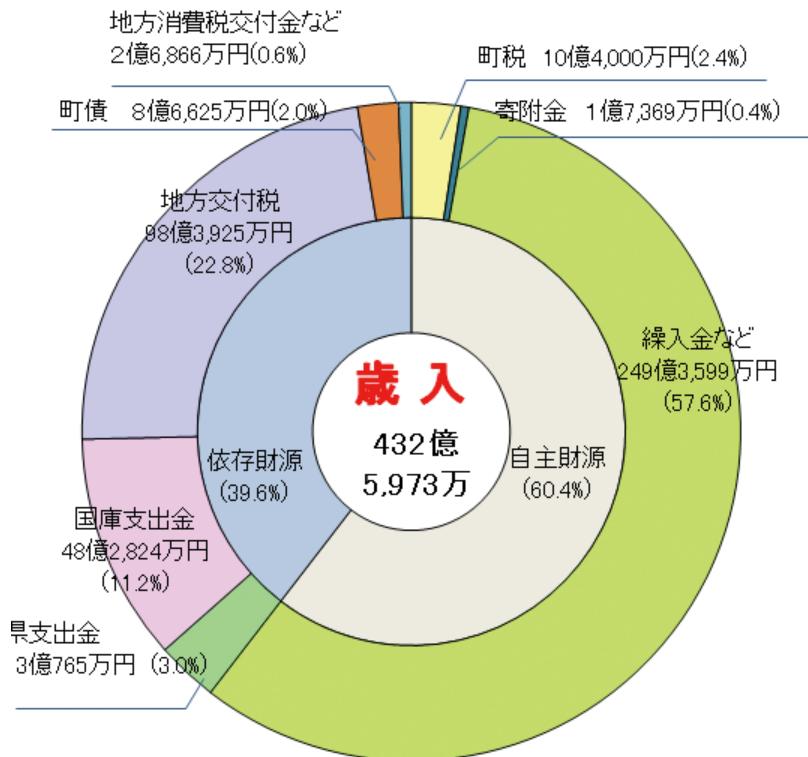
◇ 決算特別委員会 — *

決算特別委員会は、9月6日から11日までの日程で開催されました。

委員長には東梅康悦議員、副委員長には佐々木慶一議員を選出し、本会議で付託された平成29年度一般会計歳入歳出決算など7会計について審査しました。

決算特別委員会での審査終了後、本会議を再開し、29年度の一般会計歳入歳出決算など7会計の決算は、いずれも原案のとおり認定となりました。以下、質疑の一部を紹介します。

《一般会計決算の内訳》



歳入

432億
5,973万復興費
317億819万円
(76.4%)民生費 21億4,743万円(5.2%)
総務費 15億7,160万円(3.8%)
議会費 7,513万円(0.2%)

Category	Amount (億円)	Percentage (%)
衛生費	7億9,824万円	1.9%
労働費	626万円	0.0%
農林水産業費	2億2,651万円	0.5%
商工費	1億4,038万円	0.3%
土木費	23億541万円	5.6%
消防費	5億9,124万円	1.4%
教育費	6億1,529万円	1.5%
災害復旧費	6億7,227万円	1.6%
公債費	6億2,697万円	1.5%
諸支出金	2,296万円	0.1%

歳出

415億
788万円

審議した議案

- 外部物置等)を、随意契約により4億1949万7920円で取得するものです。
（全員賛成・原案可決）
- ◎町道の路線認定、廃止及び変更
（全員賛成・原案可決）
- ◎認定—*
- ◎平成29年度決算7件は、全て原案のとおり認定されました。
- ◎工事請負変更契約締結の専決処分の報告：恵内地区雨水排水路整備工事について、建て込み簡易土留等、仮設工の減工、及び転落防止柵設置工の増工により、当初契約から変更が生じたことから、専決処分したものです。
- ◎健全化判断比率の状況の報告：平成29年会計歳入歳出決算は各会計とも赤字及び資金不足ではなく、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は生じていません。実質公債費比率は9・8%です。
- ①一般会計歳入歳出決算
- ②国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ③下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ④漁業集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算
- ⑤介護保険特別会計

歳入歳出決算

⑥後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

⑦水道事業会計決算

◇請願—*

（採択となつた請願）
◎土砂災害危険区域調査の早期実施についての請願

（大ヶ口団地自治会会長 柿野拓久）

（源水自治会会長 田由美子）

（自治会会长 佐々木雅士）

（県営屋敷前アパート田由美子）

（源水自治会会長 越睦子）

（大ヶ口一丁目町営住宅自治会会长 川崎雅士）

（源水自治会会長 佐々木越睦子）

（源水自治会会長 佐々木雅士）

（源水自治会会長 佐々木越睦子）

（源水自治会会長 佐々木越睦子）

（源水自治会会長 佐々木越睦子）

（源水自治会会長 佐々木越睦子）

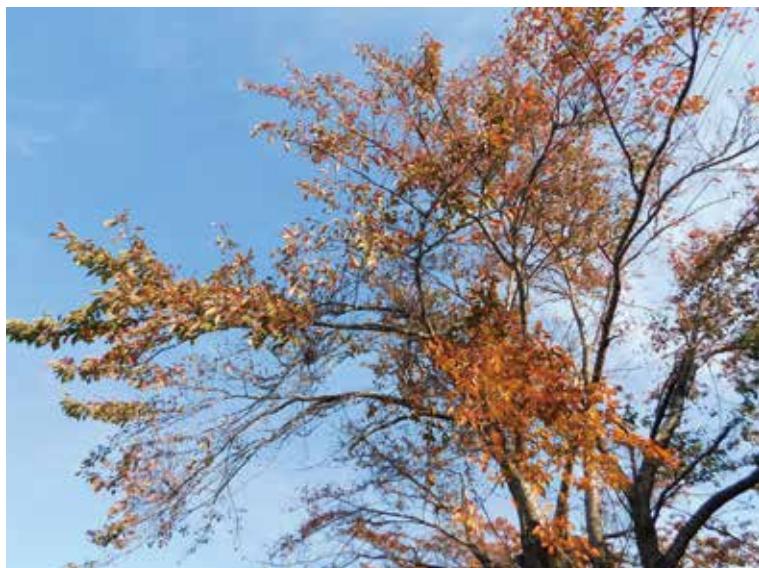
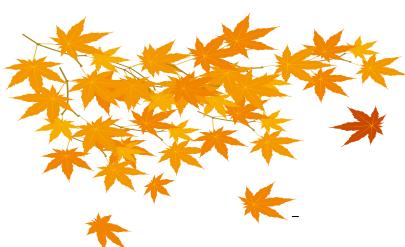
（源水自治会会長 佐々木越睦子）

（源水自治会会長 佐々木越睦子）

（10月）

4日・神奈川県海老名市議会行政視察
・山田町斎場視察
10日・群馬県邑楽郡議長会行
政視察
・リース・ハイエイ早
期実現陸前高田大会（陸
前高田市）

12日・総務教民常任委員会
・産業建設常任委員会
17日・岩手県議長会政務調査
会（京都）
21日・ふるさと大槌会（東京都）
22日・第9回議員全員協議会
・議会運営委員会
25日・岩手県沿岸知的障害児施設組合議会定例
会（宮古市）
26日・ANE-SUN設立1周年記念・ラグビワールドカップ応援対談（釜石市）
28日・土坂峰トンネル化シンポジウム
29日・いわての地域づくり道づくりを考える大会（花巻市）
30日・第2回臨時会
・釜石大槌地区行政事務組合議会定例会
・総務教民常任委員会
・観察研修（～31日・宮城県）



城県	30日 ・第2回臨時会 ・総務教民常任委員会 ・観察研修（～31日・宮城県）	29日 ・いわての地域づくり道づくりを考える大会（花巻市） ・釜石大槌地区行政事務組合議会定例会	28日 ・ANE-SUN設立1周年記念・ラグビワールドカップ応援対談（釜石市）	26日 ・岩手県沿岸知的障害児施設組合議会定例会（宮古市）	25日 ・議会運営委員会 ・岩手県沿岸知的障害児施設組合議会定例会（宮古市）	22日 ・第9回議員全員協議会 ・議会運営委員会 ・岩手県沿岸知的障害児施設組合議会定例会（宮古市）	21日 ・ふるさと大槌会（東京都） ・議会運営委員会 ・岩手県沿岸知的障害児施設組合議会定例会（宮古市）	17日 ・岩手県議長会政務調査会（京都） ・議会運営委員会 ・岩手県沿岸知的障害児施設組合議会定例会（宮古市）	12日 ・総務教民常任委員会 ・産業建設常任委員会 ・岩手県議長会政務調査会（京都） ・議会運営委員会 ・岩手県沿岸知的障害児施設組合議会定例会（宮古市）	10日 ・群馬県邑楽郡議長会行 政視察 ・リース・ハイエイ早 期実現陸前高田大会（陸 前高田市）
----	---	--	--	----------------------------------	--	---	---	--	--	---



下村 義則議員

町内の学園へエアコン設置を

気象状況の変化や財政面などから検討する

防災ラジオの貸与台数の 進捗状況について

県が行う調査結果を基に安全が確保される箇所について、避難所指定を行っていく。

年8月3日から指定解除された理由は。

【答】(田中危機管理室長) 明るいうちや早期避難を呼びかける。徳並地区は、住民説明会を行った

【問】今まで新基準を満たしていない避難所に避難せよといふ。

者・学校・PTA・地域・役場担当者など20名以上が参加して、現地を歩いて点検している。

ジオの貸与台数は。

ーの一年間で2024年を貸与している。引き続き周知徹底し、全世帯への早期貸与を進める。

避難場所・避難所について

対する指定避難所が8地区にないが、その地区の避難所については。

【答】(平野町長)



浪板地区を走る三陸自動車道

て 小鎌地区多目的集会所の
指定避難所の解除について

【問】昨年8月に全世帯へ配布された防災マップには指定されていたが、今

岩手県が行つた基礎調査の結果、土砂災害警戒区域内に含まれることが判明したため、町指定緊急避難場所及び避難所から解除した。現在、代替施設の検討をしているが城山公園体育館への早期避難をお願いしている。

今後、全世帯へ周知する
避難所の耐震化について

【答】(田中危機管理室長) 今後は、小・中学部も避難所指定されているので、その施設へ避難させることについて

【問】吉里吉里学園には、保健室以外エアコンが設置されていない。現状の異常気象を考えると教室への設置が必要だと思うが、教育長の見解は。

幸などの発令の際、堺山体育館まで避難する方が危険ではないか。また、小鎌地区の住民の方へ指定解除になつたことの周知はしているのか。

新基準を満たしている。
残る1力所は昭和54年に
建設された施設のため、
現在、避難所指定の解除
も含めた検討を行つてい
る。

【答】（伊藤教育長）
平成26年度から年2回
通学路の交通安全点検を
警察署・国道、県道関係
当町の取り組みは。

は設置されていない。国でも財政措置の検討をしているが、当町でも今後適切な学習環境を確保するため、財政面などを含め多角的に検討する。

旧役場庁舎に係る問題について見解を伺う

裁判を通じ町の正当性を主張していく



東梅守議員

震災検証について

【問】先の28震災検証において、聞き取り記録（メモ、録音データ）が破棄されたことから疑義が生じている。再発防止の観点からも調査が必要と考へるが見解を伺う。また、住民や役場職員遺族が求める、あの日の時の疑問にも答えるよう、再検証が必要と考えるが、見解を伺う。

【答】（平野町長）現時点における町での「文書」・「公文書」の定義において、メモ等は公文書には当たらないと考えている。しかしながら今回の事例を踏まえ國の

法律に準拠した条例を制定し、適正かつ効率的な行政運営を図ることから、改めて調査は必要ないと考えている。
再検証の必要性については、25検証及び28検証において掲げた検証目的に沿った形で、それぞれ報告書がまとめられており、今後における町の防災対策の取り組みに反映しているところである。各検証報告書で受けた提言等については、町防災会議の中で進捗管理も含め説明している。その中で検証が必要と判断されたものについてはその都度、検証していくこととしている。

旧役場庁舎の問題について

【問】この度、平野大槌町長に対し、「旧役場庁舎解体等公金支出等差し止め請求」で住民訴訟が盛岡地裁に出されたことにについて見解を伺う。

【答】（平野町長）町では8月22日に訴訟の提起を確認したところである。今後、町としては訴状の内容を踏まえ、裁判を通じ町の正当性を主張していく。

【問】旧役場庁舎に関して、震災遺構としての価値評価と適切な財産管理について見解を伺う。

【答】（平野町長）現在、係争中であることから、裁判への影響を考え、答弁は控えることとする。

町議会を傍聴してみませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。町で今何が課題となっているなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていただく機会です。傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。

また、定例会の様子は「おおチャンネル」でも視聴いただけます。

● 12月定例会は12月7日(金)開会予定です
(予定は変更される場合があります)

真砂土の国道の安全は

基準に基づき安全を確保している



阿部 俊作 議員

【答】(平野町長)
国土交通省三陸国道事務所を確認したところ、基盤排水工の設計基準に基づき、安全性を確保しているとのことである。

土砂流出は工事途中のことであり、工事完了後は、申し入れは必要ないものと考えている。

【問】西日本豪雨で大きな災害の要因に真砂土の性質を指摘する意見もある。浪板地区の三陸自動車道は、真砂土で盛り上げてある。国に対し安全対策を申し入れるべきではいか。

【答】(平野町長)
道路構造は安全につくられているが、豪雨・台風・地震の場合は危険な箇所もあり、災害発生前に規制して安全を確保する。

防災について

【問】通行止めの目安や住民避難の基準は。

【答】(平野町長)
道路構造は安全につくられているが、豪雨・台風・地震の場合は危険な箇所もあり、災害発生前に規制して安全を確保する。

公共交通利用促進について

【問】バス停付近にバス待合所をつくってはどうか。

【答】(平野町長)
バス停の上屋やベンチ等、地域や企業と連携して整備する体制をつくり、バス待合室の設置を検討する。



西日本豪雨災害－広島－

【答】(伊藤教育長)
全国で無償化を実施している自治体は、児童生徒数が200名未満の町村。

【問】鹿の被害が拡大し、捕獲しても処理に苦労する。処理場をつくり、肉・皮の加工を新たな産業にしてはどうか。

【答】(平野町長)
鹿の被害が拡大し、捕獲しても処理に苦労する。処理場をつくり、肉・皮の加工を新たな産業にしてはどうか。

【答】(平野町長)
鹿の被害が拡大し、捕獲しても処理に苦労する。処理場をつくり、肉・皮の加工を新たな産業にしてはどうか。

【答】(伊藤教育長)
当町は723名が在籍し、無料化には4000万円以上の財源が必要。今後、大槌町としてできる」ことを検討する。

【答】(平野町長)
昨年度、185頭を捕獲

【答】(伊藤教育長)
当町は723名が在籍し、無料化には4000万円以上の財源が必要。今後、大槌町としてできる」ことを検討する。

復興へのメッセージ ~地域の声~

東日本大震災大津波から7年7ヶ月の月日が経過しました。
地域の声として、自治会長から復興へのメッセージをいただきました。



花輪田自治会 会長
中村 哲夫さん



源水自治会 会長
越田 由美子さん

小さなコミュニティの活動から

私たちの源水は地名の

如くイトヨをも生息する
「水の源」の地です。

しかし、豊かな自然に
囲まれた当地区も東日本

大震災によりほとんどの
家屋は大規模半壊や全壊

しました。

町議会に集会所設置に
向けての請願をご採択し

て頂き、お陰様で消防会

館の集会所をコミュニ

ティの活動の拠点として、

災害公営住宅や集団移転
により転居された方々と
一緒に自治会活動を行つ

ています。

小さな活動が大きな輪
に繋がるよう、牛歩の

如く、急がず一步一歩地

についた活動をしていき

たいと考えています。

地域コミュニティの確立を

花輪田自治会は昨年
自治会創立22周年を迎え、
念願であった集会所も完
成いたしました。東日本
大震災の被害も町方等か
ら比べて少なく早期に震
災からの復旧が進んだ地
区と思われます。震災後こ
の地区へ移転されて来た
方々も多くおります。こ
れからは、地域のコミュニ
ティをいかに確立して
いくかが我々に課せられ
必须です。



避難訓練（H29）の様子



草刈活動での集合写真

表紙写真



表紙タイトル



「おおつち」は、吉里吉里学園小学部2年生（29年度12月時）の前川侑里さん（下村義則）に書いていただきました。デザインに込められた思いを伺いました。

◆表紙の写真は、10月15日に行われた吉里吉里学園中学部の文化祭に向けた『合唱中間発表会』の様子です。

7・8・9年生が学年ごとに発表し、審査員の先生や他の学年生から感想やアドバイスをもらっていました。

3学年とも真剣に取り組む様子が伝わつてくる発表会で、体育館には心を一つにした歌声が響き渡っていました。



◆どんなテーマで描いたものですか。

◇秋のクリやキノコやもみじ。秋の魅力を伝えようと思いながら描きました。



◆大槌町のどんなところが好きですか。
◇にぎやかなところ。お店が多いところ。海が近いところ。
◆大槌町がどんな町になつたらしいと思いますか。
◇みんなが仲よく過ごせる町になつてほしいです。



建設中の大槌駅舎



役場玄関に設置された三陸鉄道開通カウントダウン看板

委員長	佐々木慶一
副委員長	阿部俊作
下村義則	阿部東梅一
三平守	守

議会報編集特別委員会

この三陸鉄道の開業を起爆剤にして、観光大槌を発信し、交流人口を呼びこみ、以前よりもにぎやかな大槌町にしたいと考えています。

(下村義則)

▼来年、3月23日に宮古から釜石間が、8年ぶりに開通することになりました。現在、その開業に合わせて新しい大槌駅舎が建設されています。（上記写真）今まで、久慈から宮古間を北リアス線と、釜石から大船渡間を南リアス線と呼んでいましたが、開業後は、三陸鉄道リアス線に改名されます。

久慈から大船渡まで鉄道が一本に繋がったことにより、町民の皆様の移動手段が増えて、また、学生の通学も便利になります。

編集後記